

令和3年度 施政方針

市民の命を守り、くらしの安心を築く

令和3年度の市政の運営に対する基本方針と施策の概要について、「予算編成方針」「新型コロナウイルス感染症対策」「第5次総合振興計画と組織改正」に分けてお伝えします。

問い合わせ 市長公室(内線423)

予算編成方針

令和3年度当初予算では、新型コロナウイルス感染症の影響により市税の大幅な減収が見込まれます。その中で、各施策を着実に成果へと繋げていくために、既存事業の見直しをはじめ、行政運営を無駄なく効率的に推進していきます。

新型コロナウイルス感染症対策

昨年は、経済雇用対策・生活支援対策・感染症予防対策として3度の「新型コロナウイルス対応緊急支援パッケージ」を実施しました。本年は、ワクチン接種を始めとする感染症予防対策を早急に進めるとともに、雇用者・事業者の視点に立った未来につながる施策に取り組みます。

第5次総合振興計画と組織改正

計画の推進基盤を整備することから、大規模な組織改正を行います。組織改正では、総合的な浸水対策強化のための「水安全部」やデジタル化などの行財政改革を進めるための「企画財政部」を設置します。これらの組織により、市が掲げる将来都市像の実現を目指します。

昨年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の対策については、本年も引き続き市民の命を守ることを最優先課題と考え、市民のくらしの安心を築く取り組みを進めていきます。

また、「戸田市自治基本条例」に基づいた市民・議会・行政の協働によるまちづくりを基本とするとともに、職員の意識改革や組織の活性化を進め、スピード感を持って行政改革を推進します。市民ニーズに即した新規事業の精査、経費の削減に取り組み、さまざまな行政需要に的確に対応します。

さらに、SDGsの達成に向け、市民や事業者と理念を共有することにより、「誰一人取り残さない」社会の実現に取り組みます。

※SDGsとは「誰一人取り残さない」社会を目指し、世界中で取り組む、全ての人のための目標です。令和3年1月号で特集していますので、市ホームページなどからぜひご覧ください

令和3年度 予算の概要

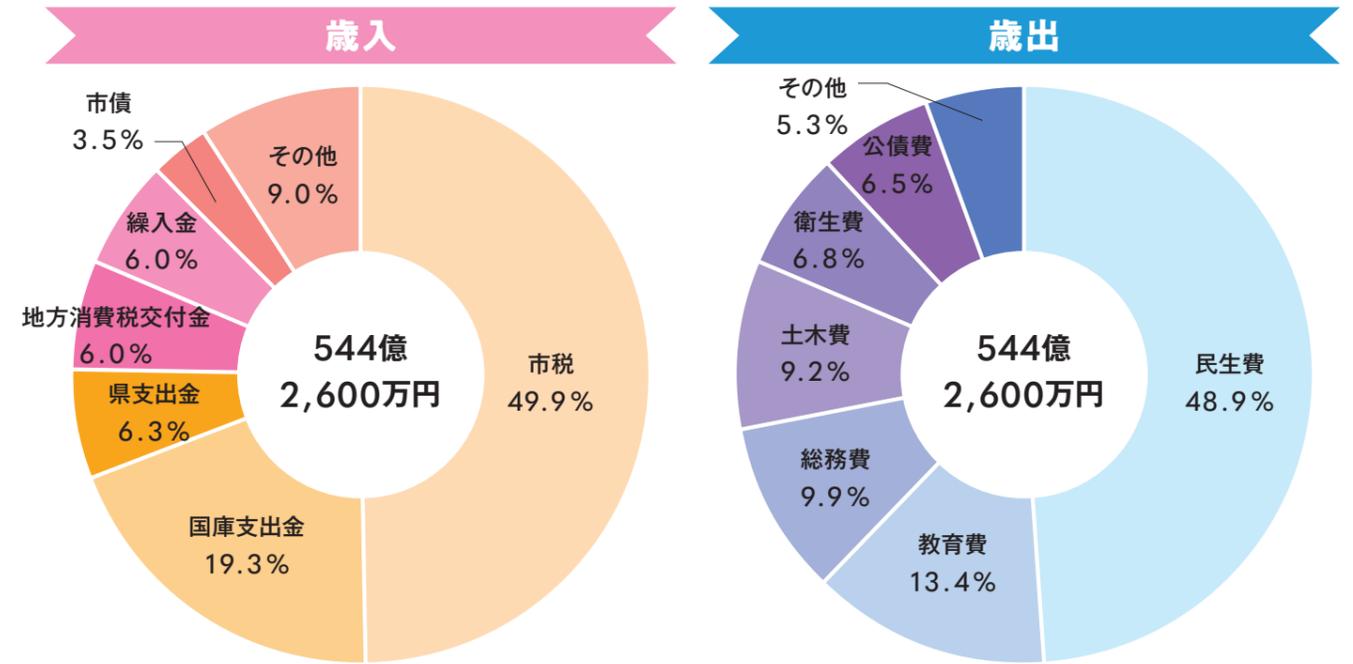
一般会計は、文化会館の改修完了による総務費の減や、戸田東小学校・戸田東中学校改築等工事の進捗に伴う教育費の減などにより、全体では約53億5,300万円の減額となっています。

特別会計は、新曽第二土地区画整理事業については減となったものの、介護保険や新曽第一土地区画整理事業などの増により、特別会計全体では約18億2,400万円の増額となっています。

これにより、水道・下水道事業を含む全会計合計で約25億円の減額となっています。

問い合わせ 財政課(内線415)

一般会計 歳入歳出構成比



特別会計予算

国民健康保険	107億5,663万6千円
市民医療センター	8億8,568万8千円
交通災害共済事業	530万4千円
海外留学奨学事業	1,313万円
火災共済事業	279万8千円
新曽第一土地区画整理事業	32億3,436万2千円
介護保険	75億9,791万7千円
新曽第二土地区画整理事業	3億8,822万2千円
後期高齢者医療	12億5,612万4千円
在宅介護支援事業	9,690万円
特別会計合計	242億3,708万1千円

令和3年度 戸田市水道・下水道事業会計予算

水道事業 収益的収支		下水道事業 収益的収支	
区分	令和3年度予算額	区分	令和3年度予算額
収入	26億9,564万4千円	収入	28億8,521万7千円
支出	25億3,412万1千円	支出	25億9,566万4千円

水道事業 資本的収支	
区分	令和3年度予算額
収入	7億126万円
支出	13億2,226万3千円
資本的収支不足額(収入)-(支出)※	△6億2,100万3千円

下水道事業 資本的収支	
区分	令和3年度予算額
収入	21億4,087万3千円
支出	27億5,152万8千円
資本的収支不足額(収入)-(支出)※	△6億1,065万5千円

※不足額は当年度分損益勘定留保資金などから補てんします

問い合わせ 水安全部総務課 229-4606

令和3年度 重点施策 3つの柱

1

「未来への投資」
で元気をつくる



子育て支援や教育のさらなる充実、経済と雇用など、未来をつくる分野への積極的な投資を行います。

2

「安心の暮らし」
を全力でまもる



防災・防犯対策や浸水対策、障害のある方への支援など、市民の命と健康をまもる施策を推進します。

3

「人・自然・街」
を共感でつなぐ



快適な住環境の整備、デジタル化などにも対応し、市民と行政が連携して課題を解決する体制を目指します。

1 「未来への投資」で元気をつくる

子どもが健やかに育つまち

子ども家庭総合支援拠点の体制整備

⇒ 2,295万8千円

社会福祉士や保健師などを増員し、総合的な子育て支援体制・児童虐待対応体制を強化

中学校スキー教室宿泊費補助

⇒ 1,690万円

民間宿泊施設利用による保護者負担の宿泊費相当額を補助

学童保育室誘致の補助金

⇒ 3,911万円

新規開設する学童保育室に補助金を交付し、児童の受け入れ枠を確保



子育てするなら戸田市

新生児聴覚スクリーニング
検査費用助成

⇒ 504万円

聴覚障害の早期発見・早期支援のため、「新生児聴覚検査」の費用負担を軽減



「教育日本一」への挑戦

体育館エアコン設置

⇒ 3億8,657万3千円

市内の全小・中学校の体育館にエアコンを整備し、授業や避難所開設時に活用
※戸田第一小学校は建て替えと同時にエアコンを設置



2 「安心の暮らし」を全力でまもる

防災・減災のまちづくり

防災減災基金の活用

令和元年12月に、県内で初めて創設した「防災減災基金」の活用

(活用事業例)

中学校屋内運動場
非常用発電機の設置

⇒ 4,129万4千円



消防車両の整備事業

⇒ 5,691万2千円



雨水貯留管の整備

⇒ 11億738万9千円

戸田駅前および北大通りの周辺地域における浸水被害の軽減



誰もが安心して
くらせるまち

見守り防犯カメラ
全小学校区への設置

⇒ 8,675万2千円

市内合計300台の防犯カメラを稼働し、犯罪などを未然に防止



3 「人・自然・街」を共感でつなぐ

魅力的な都市空間の創出

公園リニューアル計画業務

⇒ 971万7千円

魅力的な公園づくりを目指し、イベント会場や公園カフェとしての活用実験などを実施



戸田駅西口駅前交通広場交流エリア
整備事業

⇒ 5,778万円

多目的に利用できるスペースを整備



市民にとって利用しやすい市役所づくり

クラウド型スマート窓口サービス

⇒ 416万5千円

スマート申請やSNSを活用した申請システムの本格導入による、行政手続きのオンライン化



音声認識システムの導入

⇒ 117万8千円

障害者雇用の促進や増加する外国人住民へのサービス向上のため、音声認識システムを導入

協働のまちづくりを

共創のまちづくり補助金

⇒ 414万2千円

市民活動団体と市が協働により実施する事業などに補助金を交付し、地域課題の解決を図る

オリンピック・パラリンピック推進事業

⇒ 3,503万2千円

オリンピック聖火リレーの通過や事前トレーニングキャンプの受け入れなどを実施

